

Vol.7  
10月号



柳井支店 支店長

# 大町 孝二

今回は、柳井支店の支店長である大町さんにお話を伺いました。入社してから現在に至るまでの軌跡、そして柳井支店についてご紹介いただきます！

**何年にご入社され、現在のどのような業務を行っていますか？**

平成28年に中途で入社し、現在4年目です。施工計画、見積作成、材料搬入・搬出調整などの営業業務と、吉村専務の指示を仰ぎながら、柳井支店全般の運営をしています。

**貴社在籍中で思い出に残っている仕事はなんですか？**

澤田建設が元請けの、岩国臨港道路の橋台工事ですね。杭抜き、杭打工、矢板工などの工事を約半年にわたり施工しました。特に杭抜きは、人生初めての

職種で興味津々でした。現場がガンシンの近くというところもあり、相談役（当時会長）もよく見に来られていました。色々なことがありましたが、良い思い出として残っています。

**普段の業務を行う中で、心がけていることはなんですか？**

先を考え感情をあまり表に出さないこと。なるべく仕事を家に持ち帰らないこと。大変な仕事はさっさと済ませる。これらのことを心がけています。

**仕事を行う中で、大切にしている考えや思いを教えてください。**

お客様のニーズに応えられるよう努力することは大切だと思います。また、仕事に関して何か決める際は、従業員としっかりと話し合い、同じ目線で考えて

判断するようにしています。

**普段の休日はどのように過ごしていますか？**

趣味である行事の手伝い、ウォーキング、DVD鑑賞をしています。

**今後の個人的な目標や挑戦したいことを教えてください。**

前々からゴルフに挑戦しようと思っていますが、なかなか実現しません。ある人に道具は頂いたので、準備は万端なのですが（笑）。今後は挑戦してということと思っています。まずはイメージトレーニングから……。

**今度は柳井支店についてお聞きします。主な業務内容を教えてください。**

山留工や仮橋・仮設構台な

どの仮設工一式が主要工事です。他に、基礎杭、杭抜き、薬液注入なども協力業者で行います。

**柳井支店独自の取り組みを教えてください。**

若い人材の確保と育成です。事務所内もそうですが特に現場は特殊作業ですし、大変危険が伴う仕事です。また、安全かつ円滑に作業を進めていけるようになるには、かなりの時間を要します。増員していかなければ将来的に不安なので、人材の確保と育成には特に注力しています。

**柳井支店の強みを教えてください。**

一番の強みは、リースや協力業者に頼ることなく、自社機と従業員で仕事ができることです。また、従業員同士のコミュニケーションがよく取れていると思いま

す。言いたいことを気兼ねなく言い合える環境なので、どんなに忙しいときでも作業を分担し、仕事をこなすことができます。

**柳井支店の社員の皆さまとの思い出エピソードを教えてください。**

創立70周年の記念旅行が思い出に残っています。今でも、アルバムの写真を見てたまに笑っています。特に宴会時の中川次長のフェイスペインティングは絶妙でした（笑）

**柳井支店としての今後の目標を教えてください。**

インプラント工法など、津波や地震などの自然災害に強い鉄製品での施工で、コンクリート構造物に取って代わり建設業界の主力になることです。





# 現場で大活躍！ 柳井支店の重機を紹介します！

ガンシンの現場で活躍する様々な重機。今回は、柳井支店だけが所有する「サイレントパイラー」を紹介。特徴やアピールポイントを、営業とオペレーターのそれぞれの視点から伺いました！



柳井支店 次長  
中川 玲さん



柳井支店  
オペレーター  
前上 翔さん

## サイレントパイラーってどんな重機？

80～100トンもの強大な圧入力により、静荷重で地中に杭を押し込み、低振動・低騒音の上、エコオイルを使用した大変環境に優しい重機です！



## 1. サイレントパイラーはどのような工事で使われるのですか？

土木工事の現場で、掘削時に山留が必要な場合に使用する重機です。最大の特徴でもある低振動・低騒音で近隣に住宅地などがある場合の工事にも対応することができます！(前上)



## 2. サイレントパイラーの特徴を教えてください！

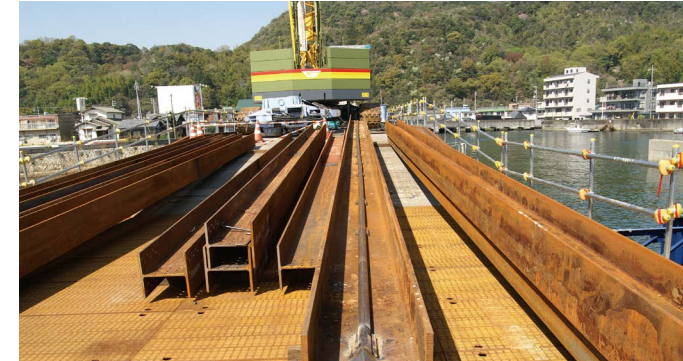
一昔前は、機動力のみで施工するパイロハンマーのみを使用していたようですが、音もうるさく振動もかなり発生します。民家の近くなどで作業する場合には向きません。しかしサイレントパイラーは、80～100トンの圧力を発揮しながらも低振動・低騒音で、安全かつ効率的にシートパイルを圧入・引抜することが可能です。エコオイルを使用しているため、環境にも大変優しい重機です。(前上)

また、パイロハンマー(電動・油圧)のように機械を吊り上げての施工ではなく、事前に圧入した反力矢板をつかんでの施工となるため、上空障害や架空線の影響もあまり受けません。さらに、硬質地盤対応型のパイラーはN値600までの固い地盤でも施工可能で、従来の杭打機のような大型重機を使用しなくてもコンパクトに施工できることも特徴です。(中川)



## 3. 操作する際の難しさや注意していることを教えてください！

締め切り作業がある場合、矢板の打設精度には気をつけています。また大変高価な機械なので、故障を防ぐため無理をさせないことを徹底しています。私はまだ入社3年目なので、場所・状況・天候・地中の固さなど、毎日が異なる条件の中で作業することに慣れていない部分もあり、難しいと感じることは多いですね。(前上)



## 5. サイレントパイラーを扱うことで、会社にどのような利点があると思いますか？

仕事の幅が広がったと思いますね。(前上)

工法を変更する際や上空障害などの現場において、より適切な施工方法をご提案できることにより、地域で絶大な信頼をいただいています。また、最先端の重機を保有しているとつながりも増え、会社の知名度も受注率も上がっています！(中川)



## 4. サイレントパイラーを使用したことで、お客様からどのような反応をいただきましたか？

サイレントパイラーを使用した鋼矢板圧入から、水圧を利用したウォータージェット併用工法、硬質地盤対応型まで幅広い工法が当社で可能になりました。途中で工法を変更する際にも素早く対応できるため、工期に影響を及ぼすことが少なく非常に喜ばれています。(中川)

